別紙１

提出日：令和５年 ３月10日

病床機能に係る病院開設等計画書

■医療機関の概要

開設者	社会医療法人　明生会
施設名、所在地 （道東の森総合病院）	社会医療法人　明生会　道東の森総合病院
	北海道北見市美山町東２丁目68番地９
標榜科目	総合内科、脳神経外科、心療内科・精神科、整形外科、乳腺外科、
	外科、リハビリテーション科
施設名、所在地 （網走の丘総合病院）	社会医療法人　明生会　網走の丘総合病院
	北海道網走市桂町４丁目１番７号
標榜科目	脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、内科、循環器内科、
	心療内科・精神科

■病床整備計画の概要

計画の種別	□開設、病床設置　□移転　□開設者変更　■法人内病床移動 □病床機能変更　□再稼働　□その他（　　）
病床機能 （道東の森総合病院）	高度急性期　　床、急性期　　床、回復期　124床、慢性期　　床
	【変更（再稼働）前】 高度急性期　　床、急性期　　床、回復期　85床、慢性期　　床
病床機能 （網走の丘総合病院）	高度急性期　　床、急性期　　床、回復期　0床、慢性期　　床 ※病床移動と同時に病院を廃止
	【変更（再稼働）前】 高度急性期　　床、急性期　　床、回復期　39床、慢性期　　床
開設(変更、再稼働)予定日	令和 ５ 年 10月 １ 日
申請等の提出予定月	令和 ５ 年 ５ 月

【計画の内容】

網走の丘総合病院において、看護師の大量退職が発生したことにより、令和２年１月31日に病棟を休止（休床）し、外来診療および在宅関連事業を行ってきました。

その後、病棟の再開を試み看護師の募集を行ってきましたが人員不足を解消できず、令和２年10月１日に桂ヶ丘クリニックを再開し、外来診療および在宅関連事業を移行するとともに、令和３年１月に同じオホーツク圏域で同一法人である道東の森総合病院へ25床を移動し、稼働率が95%を超える状況で稼働してきました。

この時点で網走の丘総合病院を廃院とする予定でしたが、事業譲渡依頼の申し出もあり交渉を行ってきました。しかしながらコロナ禍で交渉が思うように進まず、現在に至っております。

北見地区に目を向けると、北見地区消防の救急搬送件数が増加している中、道東の森総合病院の令和４年の受入れ件数は1,074件と前年比250件増で受け入れを行っており、病床は連日95%を超える稼働率で稼働しています。

北見地区ではこのような救急および入院診療のニーズも高いことから、網走の丘総合病院にある残りの 39 床全てを道東の森総合病院へ移動することを計画しています。

■地域医療構想の考え方を踏まえた当該病床機能が必要と考える理由

地域医療構想では、回復期病床の必要性が謳われています。オホーツク医療圏域においては回復期病床も少なく、増床の役割・必要性があると考えています。
つきましては、道東の森総合病院における 39 床の増床計画に速やかに着手し、地域の医療ニーズに早急に応えていくことは、地域医療構想ならびに地域包括ケアシステムにおける重要な責務を果たし、これまで以上に地域医療に貢献できることを確信しております。